

奈良県再生可能エネルギー等導入推進事業評価委員会

(第8回) 議事要旨

【開催日時】 平成29年3月2日(木) 9時50分～10時35分

【場 所】 奈良商工会議所4階小ホール

【出席者】

- (1) 委員：阪元勇輝委員長、木村玲欧委員、遊津隆義委員
- (2) 県：エネルギー政策課長、エネルギー政策課職員3名

【議 事】

- (1) 奈良県再生可能エネルギー等導入推進事業実績について
- (2) その他

【委員からの主な意見等】

委員/事務局	発 言 内 容
	【意見】
	議事(1)について
委員	多くの市町村に基金を配分いただき、また目標達成率は100%前後と一定の効果が認められると考えている。基金残についてはどのように考えているのか。
事務局	当事業は平成28年度までとなっており、基金残については国に返還することになる。災害等の場合で繰り越しが認められる場合があるが、基本的には繰り越しや来年度基金を使用することは認められない。基金残が生じるのは入札等による減によるものであり、他府県の状況も当県と同様に基金残がある状況である。
委員	市町村はこの基金をどれくらい認識していたか。10分の10補助ということでこんなにいい話はないと思う。
事務局	市町村は十分認識していたと考えている。

委員/事務局	発 言 内 容
委員	基金を使っていない市町村もあるが、全体として基金を使っている。今回の基金により、非常に大きな成果が出たと考えている。奈良県としては、県民だよりなどを活用してもっと成果をアピールしてほしい。住民は今回の基金で太陽光発電等の設備が設置されたことをほとんど知らないと思う。基金の成果について、市町村の報告義務はないのか。
事務局	環境省に実績状況を提出することになっているが、詳細な使用状況等については報告義務はない。今年度、別途環境省が調査された際に、県も使用状況を把握できた部分はある。
委員	各市町村で今回の資料 5 のような簡単な報告書を作成してほしい。そうすると効果がわかりやすい。今回の基金事業の実績を今後どう活用していくかを考えてほしい。
委員	今回の実績を市町村ごとにパワーポイント数枚の資料でまとめていただいてホームページに載せるなどはいいいと思う。他の事業において資料を挟み込んだりするなど、PR を進めてほしい。今回の基金事業については奈良県の独自性もあると考えられるので、事業は今年度で終わるが、次に繋げていってほしい。
事務局	実績を冊子にまとめて作成するというのはコストもかかるので難しいが、事例集等をまとめて紹介することなどは検討していきたい。
委員	資料 5 のような資料を各市町村に作成してもらったらいいいのではないだろうかと思う。
事務局	現在完了検査で市町村を回っているので、そのときのデータを使うなど、市町村と協力して進めていきたいと考えている。近年国は会計検査だけではなく、補助金や基金の効果や活用状況を調査する事業を行っている。この調査を活用していくことも考えていきたい。
委員	設備の維持管理についてはどのように考えているか。
事務局	基本的には維持管理は施設管理者が実施していくものと考えている。
委員	県として設備の状況を追っていく形ではないのか。

委員/事務局	発 言 内 容
事務局	設置して数年は問題はないと思う。設備の更新時に市町村から相談を受けることが考えられるが、それまでは市町村が県に相談することはあまりないと考えられる。
委員	設備導入後何年間かは処分や移動ができないというのはあるのか。
事務局	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律により財産処分の年限が決められている。耐用年数相当で設定され、年限までに対象設備を処分すると補助金の返還となる。
委員	ペレットストーブについて心配している部分がある。使わないから処分するというようなことにならないだろうか。
事務局	平成 29 年 3 月に田原本町に木質ペレット加工工場が完成した。県内での供給体制が徐々に整いつつある。ここの工場を市町村に紹介していきたい。
委員	今回設置の設備を住民に周知していくことや、防災訓練での使用などについては、今後県で追って行ってほしい。市町村の課題を把握して行ってほしい。
委員	今回の設備により売電はできないのか？
事務局	全量売電はできない。今回太陽光発電設備を設置している施設はほとんどが昼間も使用しており、電力は自家消費され则认为ている。
委員	今回の事業に関連して、次につながっていく事業はあるか。
事務局	平成 29 年度の事業で、小規模避難所における電力確保のために V2H と携帯 LP ガス発電の設置補助を考えている。また、今回設置設備の啓発について考えていきたい。
委員	県のエネルギービジョンの見直しはいつか。
事務局	現在のエネルギービジョンは平成 30 年度までの予定。平成 30 年度に見直しを行うことになる。

委員/事務局	発 言 内 容
委員	エネルギービジョンに二酸化炭素削減目標を盛り込んでいたか。
事務局	二酸化炭素削減はエネルギービジョンからは切り離している。 【総括】
委員長	総括ということで、委員の先生方、事務局の皆様方、3 年間ありがとうございました。目標値に対しては達成できたと考えている。先生方もまたご尽力いただければと思う。ありがとうございました。
事務局	奈良県再生可能エネルギー等導入推進事業評価委員会は本日の第 8 回をもって最終となる。今まで当事業に対して先生方には多大なご尽力をいただきありがとうございました。